

●トラック 1：文芸部での日常

●背景：文芸部部室（日中）

（主人公と聖羅、本を読んでいる。向かい合わせに座る）
（5～7秒ほど流した後に聖羅がしゃべる）

……。

あの……ちょっと、いい？

ごめんね？

ちょっと気になる噂、耳にしちゃった。

（主人公「なに？」）

あの……桃と、付き合ってるよね？

噂……いや、噂というか、桃がなんとなくそんなこと言ってて。

でも、あの子そういう話しないから誰ととは言ってなくて。

言ってなくても、なんとなく雰囲気わかるの。

今日君に会って……それ、察したっていうか。

（主人公「よくわかるね」）

や、やっぱりそうなんだ……。

じつはね？ 私、あの子と友達で……。

ほら、私達あまりしゃべったことないでしょ？

同じ文芸部に居るのに……私は幽霊部員だから、今日たまたま来ただけで、

ほとんど初対面に近いって、いうか……。

（主人公「雰囲気似てる？」）

うん。君達、雰囲気似てると思う。

あの子はバレー部で陽キャ……君はどっちかっていうと私寄り。

なのに、なんかそういう雰囲気出してるなって。

……あと、その鞆のキーホルダー。

それ、桃が気に入ってるキャラの……。

(主人公「名探偵じゃん」)

アハハ……名探偵っていうか、
桃とは、それだけ仲良かったっていうか……。
中学時代はよく一緒に遊んでて。
最近はあの子、部活とか新しい友達ばっかで、
私……あまりかまってもらえてなくて。

(主人公「言おうか?」)

あ、ううん! 言わないで?
桃が楽しいならそれでいいの。
友達、だから……それでいいの。
ねえ……桃とは、いつ付き合い始めたの?

(主人公「3ヶ月前ぐらいかな」)

3ヶ月かあ……。
あの子にとっても初めての彼氏だと思うけど……
桃って、どんな彼女なの?
迷惑とか、かけてないかな?

(主人公「むしろ俺が迷惑かけてる」)

へ? 君が迷惑をって……どういうこと?

(主人公「ほら、性欲強いから……」)

せ、性欲? 性欲で迷惑ってなんの——
あ……っ。

あ、あはは……。
そ、そ、そっか……そう、だよね……。
そういうことも、する、よね……。

(主人公「変なこと言ってごめん」)

ううん！ 聞いたのは私だから！
私の方こそごめんね？

……でも、そっかあ……。
桃も、ついに……かあ……。

彼氏、いいなあ……。
いろいろ教えてくれてありがとう。
答え合わせできてすっきりした。
桃のこと、大事にしてあげてね。

=====

●トラック 2：電車内にて恋人の友人との事故射精

●背景：ホーム（日中）

(通学中の駅のホームからスタート)
(人混みに巻き込まれながら電車内へ)

●背景：電車内（日中）

(主人公、ドア前まで押し込まれる)
(聖羅はドアを背中にして、最初は背中を向けている)
ん……ん……。
……あ、あれ……？

(聖羅、主人公に気づく)

おはよう……同じ電車だったんだ……！

(聖羅、ここで主人公と向かい合う)

朝早いんだね。

私は、家よりも教室のほうが集中できるから。

(主人公「朝から勉強？」)

うん……あ、そっか。

別のクラスだから知らないよね……私、朝から勉強するガリ勉って思われてるんだよ？笑

きやつ！

ご、ごめんね……！

急に揺れたから……！

うっ……んっ……あはは……ちょっと、近づきすぎちゃった。

んく……ごめんね？

こんなに、くっついちゃって……。

桃には……黙ってて、ね？

事故なんだから、仕方がないよね……。

うん……仕方がない……。

(主人公「こっちこそごめん」)

あはは……んっ、ううん、謝らないで……。

っ、ん、こっちも……そ、その……手が……、

君の、そのっ、大事なところに……っ。

ううっ、んん、手が、動かせないの……っ。

ん、う……ん……っ。

うっ、んっ……っ。

(主人公「こ、こすらないで……」)

え……？

こす――

(聖羅、自分が手コキまがいのことをしていると気づく※ふり)

ご、ごめん……！

違うの！ こ、これっ、ん……！

電車が揺れてっ、て、手が、勝手に動いちゃって……！

ひやっ！

ご、ごめんね……っ！

ううっ、ん、また、揺れて……！

一段と、あ、あそこに……手が、食い込んで……っ！

ふう、ふう……っ。

あ、あれ……。

これ……その……間違ってたらごめんね……？

もしかして……大きく、なってる……？

(主人公「ち、違うんだ……！ わざとじゃない！」)

う、うんわかってるよ？

うんっ、わざとじゃない……！

うんっ、わかってる……っ！

で、でもっ、あのっ……

おちん、ちん……っ。

触ったこと、なくて……っ！

だから……っ、どうすればいいのか、わかんなくて……っ。

ううっ、ごめんね？

ふう、ふう……謝ってばかりだけど……っ、

こ、これ、普通謝る、よね……っ。

はあ、ううっ、ん……っ、ん……。

ごくっ……。

ふう、ふう……………っ。

ま、まだ着かないの、かな？

アハハ……遅いね……………せつかく急行、乗ったのに……。

(主人公「これ、桃には……っ」)

ん？ 桃？ う、うん、わかってるよ？
言わない……言えるわけない……っ。
ふたりの恋、応援してるんだから……、
私におつきくしちゃったことは……君と私だけの秘密に……。
うん……平気……っ。

(ペニスがどんどん膨らむ)

ああ……っ。
うっ、どんどんっ、硬く……ううう……っ。

んっ……う、っ………これ、私が……勃たせてるん、だよな……っ。
ううっ、う……う………ふう、ふう……っ。
んっ、う……どうしよう……。

ふう、ふう……私、どうすれば……っ。
桃、ごめんね……っ。
ほんとに、ごめん……っ。

(主人公「ごめん……で、出るっ」)

えっ！？ 何したの？ 出るって――

(主人公、ズボン内で射精)

ひゃ！
あっ、な、なんか、熱く……っ！
どうしたのっ？ すごい震えてる、けど……っ。

(主人公「漏らしちゃった……！」)

はあっ、はあっ。
なにが、漏れ――お、おしっこ……？

(主人公「違う……精液……」)

え？ え？ せ、精液……？

うそ……ちょ、ちょっと触れちゃってる、ただだよ……？

うそ……。

桃の彼氏さん相手に……そ、そんなこと……！

(主人公「これ、ほんと黙ってて！」)

う、うんっ！ 黙ってるよ？

わかってる……わかってるってば……！

言えないよ、こんなこと……っ！

絶対、言えない……っ！

あ、あとで指切りげんまんしよ……？

あ、せ、誓約書のがいい、かな……？

あはは………は………。

その……ごめん。

電車が着くまで、この手は……動かせない……、

あとで一緒にトイレ、いこ？

お着替えは手伝えないけど……ば、パンツの替えくらいは、

買ってくるから。

……ほんと、ごめんね？

=====

●トラック 3：なぜ電車内で早漏イキしたのか……恋人友人への言い訳

●背景：廊下（夕方）

（トラック 2 の続き。その日の放課後）

（主人公、文芸部前の廊下に立っている）

●背景：文芸部部室（夕方）

（聖羅が本を読んでいる）

あれ……？

どうしたの？ 今日、桃は部活ないらしいよ？

もしかして……。

今朝の件、かな？

（主人公、聖羅のもとに歩き出す）

話ならいつでもできるんだから、

一緒に帰ればよかったのに。ふふ。

あの子忙しいからなかなか一緒に帰れないでしょ？

（主人公「どうしても、話しておきたくて」）

……そ、そっか……。

今朝のこと、そんな気になってるんだ。

でも、誰にも言っていないし、言うつもりないよ？

そっちも同じでしょ？

（主人公「も、もちろんだよ！」）

うんっ、だよね？

指切りしたんだから、絶対の約束。

あ、お話するなら座って？

それで……なにを話すの？

（主人公「ごめん！」）

わっ！ だ、だからもう謝罪はいいって！

謝りたいのはむしろこっちなんだから！

(主人公「ズボン越しとはいえ、触らせちゃったから……」)

あ、ああ……そっか。
うん……触っちゃった、よね。
でも、触らせちゃったとは思わないで？
ほんとに偶然のことなんだから……。

あの件はもう、忘れよ？
私も……あまり意識しすぎると、その……ね？
顔真っ赤になっちゃう……笑

(主人公「普段はあんな敏感じゃないんだ」)

え？　び、敏感？

あ、そ、そうだね……。
ええと……男の子の体、全然知らないけど……、
たしかに……ちょっと早いっていうか……び、敏感、だったよね……。
たまたまなの？

あまり深掘りしたい話じゃないんだけどー……。
その……さ。

え、エッチって、どう、してるの……？
友達目から見ても……桃って、あまりそういうことに積極的じゃない気がしてて。

ほ、ほら？
友達と遊ぶのが好きなタイプだし……、
大人な雰囲気似合わないっていうか……。

(主人公「してるよ……デート終わりに」)

す、するの……！？
そうなんだ……へえ……。

デート終わりに、かあ……。

デートは……どれくらいのペース……？

(主人公「最近は全然」)

そっか……最近は、じゃあ……その、
いわゆる………れ、レス……？
あ、それが……敏感だった原因？

(主人公「じつは……あまり相性がよくなくて」)

……相性がよくないって、エッチの？
うーん……よくわかんないんだけど、よく聞くよね。相性って。
どういうのなの？ 相性の悪さって。

(主人公「中折れって知ってる？」)

ナカオレ？ なにそれ？

(主人公「入れた時に萎えちゃうやつ」)

え……？ い、いれ……？
そのっ！ え、ええと……っ、
じゃあ君は……も、桃にい、い、入れた後に……
ふ、ふにやふにや、に……？

(主人公「そう……前までは普通にできたのに」)

……最近、なの？
でも、好きなんだよね……？
萎えるって、そ、それって、好きじゃないとかそういう感情じゃない、よね？

(主人公「違う！ ただ、最近ついていけなくて」)

ついていけない？
桃に……？

(主人公「陽キャなあの子のノリが……つらい時もあるって」)

陽キャのノリ……。

うん、わかるよ……たまに変な時あるよね、あの子……笑
それだけで、ついていけないの……？

(主人公「男との距離が近すぎるんだ」)

んー……たしかに、男の子と普通にカラオケ行くよね、あの子。
男の子3人で桃だけひとり女の子ってシチュで、普通に部活の練習してるの、
中学の頃はよく見たかな……。

……それで、嫉妬しちゃってるのかな？
もちろん浮気は疑ってないよね？
そんなことしないってわかるよ。私にも。

でも、どうして私には……な、中折れ？ それ、起きなかったんだろ……。
陽キャじゃないから？

(主人公「つい……」)

うう……な、なんか、エッチな話ばかりで……アハハ。
気まずいね……。

……………あのさ？
私、桃の応援してあげたい。
陽キャだけど、いつも男の子みたいに思われるって、昔から恋するのに苦労してた。
やっとできた彼氏、絶対に上手くいきたいって思ってるはず。
君だって一緒にしょ？ 彼氏クン。

だから……。
ひとつ、提案するんだけど……。

私でよければ……ひと肌脱ぐよ？
処女だし、全然力になれないと思うけど……一回、大きくなったんだし、
もしかしたら……君の悩み、私で解決できるかなって……。

=====

●トラック 4：まさかの手コキでお手伝い…！

●背景：文芸部部室（夕方）

（トラック 3 の続き）

（聖羅が中折れ対策の協力をすると行った後から）

中折れっていうのを、解消したいんだよね？
もしかしたらだけど……じ、自分で、してるの？
オナニー……。

（主人公「そ、そりゃあ」）

そ、そっか……。
前、お兄ちゃんが友達と話してたんだけどね？
ひとりでするのに慣れすぎたら……女の子で出しづらくなるって。

力が弱いでしょ？ 女の子って。
だから、桃で出せないんじゃないかな……桃が力加減、弱くしてるせい、とかさ。
あんなに好きだって言ってたんだから、絶対どうにかできるよ。

それに、私、放っておけない。
友達のためにも……私、頑張るよ。
……とりあえず、ズボン……脱いでほしいな。

（主人公「なんで?!」）

な、なんでって……脱がなきゃ、できないよ？
恥ずかしいと思うけど……おちんちん、出してほしいの。
私も恥ずかしい……でも、これ誰にも言わないから。
お願い……桃のためにも、その悩み……解消させて？

あ、ありがとう……。

あ、め、目……閉じとくね……。

……脱げた？

いい？ 目、開けるよ？

(聖羅、ペニスを見る)

わ……！

こ、これが……！

(主人公「まじまじ見ないで……」)

あっ！ ごめんね？

男の子だって、見られたら恥ずかしいもんね……ごめん。

その……っ、これ、どうすればいい？

射精させてあげたいんだけど……。

(主人公「て、手でいいなら」)

手？ あ、うん。わかった。

握るね？

(ペニスを握る)

わ……っ！

思ったよりも熱くて……じかに触れると、ごつさが、伝わってくるね……！

……よく考えたら、普通に勃ってるね……。

ほんとに、桃の前で萎えちゃうの？

(主人公「嘘じゃないよ！」)

疑ってるわけじゃなくて……た、ただ、すごいなー……って。

んっ……！

動かせばいいんだっけ……。

いくよ？

これで、いい？

ん、う、ん……動かし方は、なんとなく……わかるの……。

ん、ん……ん……私、お兄ちゃんいるから、

その……ん、っ、昔は、何度かお兄ちゃんがしてる所……見ちゃって……。

っ……ん………ん、っ、だから、

おちんちん見たのは……初めてではないの。

ん………でも、このおちんちんは……お兄ちゃんのより、立派かも……。

ん……ふう………ん……。

シコシコする以外で……なにかしてほしいこと、ない？

指示厨いいよ？ 操作されてみるから。

(主人公「じゃあ、乳首を」)

ん……っん……。

ち、乳首？

触ればいいの？

うん、まあ……おっぱいくらいなら。

上からで、いいよね？

んっ……ふう……ん……ん……。

あ……気持ちよさそう……。

へえ……男の子も、敏感なんだ……。

(主人公「も？」)

ん……っ。

あっ！ いや……もって言ったのは、

んう、その……ほんと、誰にも言わないでよ……？

う、ん……私、結構敏感で……友達に触られるだけで、ビクッとしちゃうくらいで……。

んん、っ……ん、あ、私のはダメだよ？

ん………ん、君が触るのは、桃のおっぱいだけ……。

ね？

んう、不満は……全部恋人にぶつけないと。
んっ……そしたら、中折れなんてなくなると思うな……。
ふう……ん、ん……っ、ん……。

あとは——
ささやきも……結構いいんじゃないかな？
ん……人肌を感じて……ん、っ、ん……気持ちよくなれる気がする。

んく……ん……ふう……ん……。
ん………どうかな？ ん、っ、ん……まだ足りないなら……、
もうちょっとだけ、頑張ってみる。

(主人公「まだ、出なさそう」)

んう、そ、そうだよね……。
男の子の握力には勝てないもん……。
んうう、ん、さすがにすぐ出させるのは難しいか……。
なら——

これくらいはどう？
んう……ん、っ、ん、んううっ、ん……。
私史上、一番早い動きかも……。
こんな上下の動き……んん、女の子はしないと思う。

んっ、ん……ふう、んっ……ん。
はあっ、ん……ん……んっ……熱さが、さっきよりも……。
んく、うん……んっ……おちんちん……興奮してるのかな。

熱いっていうか、んんっ、硬さも全然違ってすごい……。
んん、う、ん……ふう、んく、ん……。
ん……ふう……ん、ん……。
ううう……んん、ん……。

ふう……んん、ん……息あがってるね……。

出そうなの……？

んう、精液って……どこで受け止めればいいの……？

ん……ふううう、ん、ティッシュ？

ん……ん……桃は——いや、ごめん。答えないで。

友達のそういうとこ……あまり掘り下げない方がいいよね。

んう……ん、ん、どこでもいいや……。

んう、ん……制服以外……あ、床に出せばいいかな？

(主人公「限界……っ」)

出る？ うん、いこ？

頑張って……射精させてみせるから。

んうっ、ん……出して……っ。

ふう、んん、桃とエッチするための第一歩だよ……っ。

私で出して？

んう……さ、おちんちん……っ、イッて……っ！

(手コキ射精で太ももへぶっかけ)

ひやああ！

わっ！ ふ、太ももにかかっちゃった……！

ああっ、ああ……っ、熱いよ……っ。

ううっ、ん、こんなに熱いのが、たくさん……っ、太ももに……♥

(主人公「ごめん……！」)

ううん、謝らないでよ……。

むしろ、元気に出してくれてよかった……。

まさか、初めて射精させたおちんちんが……

友達の彼氏のなんて、一生誰にも言えないね。

それでも……私、満足だよ？

これが桃のためになるなら……喜んで、太もも汚される……笑

桃と、また試してみてね？
直ってなかったら、私がいつでも協力するから。

=====

●トラック 5：オカズ提供のつもりが…

●背景：文芸部部室（夕方）

（トラック 4 の別の日）
（聖羅が部室にやってくる）

あれ？ 今日には先に来てたの？
ちょうどよかった。
さっき桃とおしゃべりしてきたから、
その話をキミにも共有しておきたくて。

（聖羅、机の横に来ると鞆を置く）

あのさ？
こないだ……手で、シテあげたでしょ？
その後に……あの子と、シタよね？

（主人公「なんの話？」）

ううん。とぼけなくていいの。
さっき桃が教えてくれたから。
それで……桃が教えてくれた理由っていうのがね？
そのエッチに関してなの。

私も聞かされてびっくりしちゃった……。
だってだよ？
「彼氏が勃ってくれない」って、すごく深刻そうに言うてるんだもん……。

（主人公「う、うそ」）

ううん、ほんと。

桃が、前々から萎えちゃうこと教えてくれて。

私なんかに相談するくらいだから、よっぽど悔しいのか悲しいのか……、
彼氏居たことないからなにも言えなくて、私も悲しかった……。

中折れ、じゃないよね？

なにかあったの？ その……ストレスとか。

(主人公「そういうんじゃないんだけど……」)

違うの？

うーん……あまり男の子のプライドとかに関わるし、
変なこと言えないけど……その——

おか、ず？

それ、提供したら……エッチの時に頑張れるかな……？
どう？

(主人公「オカズって……なに？」)

うん、それなんだけど……お、おっぱいとか、どうかな？
もう覚悟決めてきたし……

さっき、谷間拭いてきた。
ここ、汗たまるから……。

(主人公「い、いいって！」)

ううん。遠慮しないで。
これは友達にとっても大事なことなの。

ん、しょ……。
……これで、どうかな……。
た、勃つ？

(主人公「お、大きい……」)

アハハ……そうだね……大きい、よね……。

桃よりは、だいぶ大きいかも……。

勃ってくれる……？

んう、あまり見られ続けるの恥ずかしいけど……、
よく見て……オカズにしてね……。

ん……………。

これで……もう、いいかな……？

え……？

わっ……！

き、気づいてる？ それ……！

大きくなってるよ……！

た、勃たないんじゃないかったの……？

(主人公「わ、わからない……」)

うーん……意識してないからなのかな？

でも、そのまま桃の前でも勃てたらいいね。

(主人公「これ、どうしよう」)

へ？ どうしようと言われても……。

オカズあげたから……あとは桃に出してあげて？

(主人公「よかったら……出させてほしい」)

……えっと、私に抜いてほしいの……？

いいけど……ちゃんと、桃のことは愛してるよね？

協力は、あくまで桃のためだよ？

(主人公「わかってる」)

ん……わかってくれてるならいいけど。
んと……じゃあ……………どうしよう。
挟んで、みる……？
ここ……。
さっきから、興味津々みたいだし……ね。

なんとなくだけど……見せるだけじゃダメだろうな～とは思ってたんだ。
出して？
おちんちん。

わあ……。
やっぱり……すごい膨らみ。

ごく……っ。
パンツも、脱がすね？

わあ……。
豪快にぶるるん、って……。
ん……これが桃の前で勃たないなんてもったいなよ。
あの子、私なんかより断然かわいいのに……。
じゃ、じゃあ……。
このまま、挟んでみるね？

(ブラをつけたまま谷間に)

んうう……っ。
熱いね……っ。

(主人公「狭すぎる……」)

うん……ブラつけてるから、
ん……………っ、いつもより狭いよね。
谷間、盛れてるし……。
パイズリって……このまま動くの？

(主人公「上下に動いて」)

ん……上下ね。わかった……。
んうう……ふうう、ん……これで、どうかな？
んく、ん……ふう……ん、んう、ん……。
ふう……んく、う、んん、ん……。

ふう……んん、ん……谷間にこすれるだけで、
んうう……私まで、変な気分になっちゃう……。

ううつ、んん、んく、ん……。
はあ、ん、んんう、んっ……ふう……んく、ん……。
そっちはどうかな？
んうう……私のナカ……気持ちいい？

んくう、ん……ん、ふううう、ん……ん。
ふう……ん……ん……。

(主人公「パイズリ初めて……」)

あ、そっか……キミも、これは初めてなのか。
んう……私が初めて貰ったのって、このパイズリだけ……？

(主人公「うん……そうかも」)

んう……ん、そっか……。
なんか、不思議な気分……ん、んう、でも、桃はスレンダータイプだし、
ん、っ、ん、どのみちこの初めては、桃には捧げられなかったし、仕方ないよね……？

んう……んん、ん……。
桃の前で、パイズリ経験あるとか、そういうの匂わせちゃダメだよ？
んう……ん、女の子って、言葉のミスを見抜くの、上手いんだから。
んんく、ん……んん、ん……。

ん……ふう、んくん……。
ん……んう、ん……ふう、ん……ん……。

(主人公「乳首みたい」)

え……？ さきつちよ……見たい？

うう、んん、どうしよ……。

んう……さすがに、抵抗あるけど……。

んう……ああ、でも……あまり強い刺激って、よくないんだっけ……。

なら、狭すぎる谷間のほうが、ダメなのか……。

んんう、わかった……。

桃のためにも……脱ぐね。

ん、しよ……んう、ん……。

一旦、止まるね？

ふう……。

恥ずかしい……。

あ、あまり見ないでね……？

やん……っ。

め、目合った……！

だから、あまり見ないでって……！

もお……っ、んうう、ちょっと、お仕置き……。

んう、ふうう、んっ……いっぱい感じさせて……、

ハアハアさせちゃうよ……。

(主人公「そんなに恥ずかしいの？」)

んうう、ん……恥ずかしいに決まってるよ……。

普通の女の子はみんな、他人に裸見られるのダメなんだから。

(主人公「女の子にも？」)

んう、ん……。

うん……っ、同性でも同じ。

んっ、んうう……っ、んうう、んっ……。

んう、さきっぽから……透明なの出てきた……。

んう、んっ、ん……舐めてみるね？

ん、ん……ん……さきっぽだけ……。

(舐めフェラ開始)

れろ、れろ……んん、ちゅ、れろ、れろ、れろっ。

ふううう、ん、ちゅ、れろ、れろ……っ。

独特な味がする……。

んう、れろ、れろ……白いのもついてる……。

ぺろんん、ちゅ、ちゅう、チュッ。

あ、舐めちゃった……。

んう、でも、大丈夫だよね……？

れろれろれろ……ちゅるる、んん、ちゅ。

れろ、れろっ、んん、ちゅくちゅんん、チュッ。

れろれろっ、ちゅんん、ちゅく、チュッ。

んん、ちゅく、ちゅんん、ちゅ。

こないだよりもパンパンだよ……？

れろれろ、ちゅんん、ちゅく、チュッ、この反応を、桃にもできるといいね。

ちゅんん、ちゅくんん、ちゅる、チュッ、れろれろれろ……んん、チュッ。

私は……んん、ちゅる、ちゅんん、チュッ、ちゅっ！

(主人公「もう……やばいかも」)

え？　ちゅう、ちゅ、もう？

れろれろっ、少し耐えてみて？

ちゅう、ちゅ、簡単に出しちゃったら……ちゅる、ちゅ、

おちんちんに優しすぎるから。

れろれろれろれろ、んん、ちゅる、ちゅうう、チュッ。

おちんちんには厳しくしようね。

れろれろれろっ、ちゆるる、チュッ。

んん、ちゆる、チュッ、んん、れろれろれろ……。

んん、ちゆる、ちゅん、チュッ……れろれろれろ、んん、チュッ。

ちゅう、ちゅん、チュッ。

れろれろ、頑張って耐えてね。

ちゅう、ちゅんん、れろれろれろ、ちゆるる、ちゅ。

んん、ちゅうんん、チュッ、れろれろれろっ。

んぷんん、チュッ……ちゅう、んん、ちゆる、ちゆるっ。

(主人公「もう無理だって……！」)

ダメ？ んうう、ちゅう、なら——

んうううっ、こうして、んう、

ギリギリまで、感じさせて……いっぱい、出してもらおう……っ。

んんう、んっ、ふう、ふう！

んうっ、んっ！

(主人公「どこに出せばいい？」)

んうっ、あ、そっか……っ。

精液、どこで受け止めよう……。

んううう、んっ、あ、そうだ……。

(咄えフェラに移行)

ずずううう、ぢゅ、チュッ、ぢゅるう。

んぷうっ、ぢゅるるっ、チュッ、出して？

ずずうう、お口で、受け止める……っ！

(主人公「でも……っ！」)

ぢゅうう、チュッ、いいから……っ。

チュッ、ぢゅ、ふたりだけの、秘密……っ！

ちゅうう、チュッ、この興奮、ちゃんと桃に伝えてあげてね。
ちゅっ、ちゅっ、ちゅる、そのためなら、
精液っ、飲んであげられるから……っ。

ちゅぶぶぶ、チュッ、ズズズっ、チュッ！
来てっ、ちゅうう、ちゅ！
お口に……っ、射精して……っ！

(口内射精)

んふう！？
ふひゅ！ んっ、んうううう！ けほっ！
んっ、ん、んうう……ふう、ふう……ッ！
くるひい……！

思った、より……けほッ！
んっ、んう……喉に、引つかかる……！
んぷ！ んっ、んう……！

んう！ んっ、まだ、出て……！
うふ、んう……んん、んっ、ふううう、ん、んう……！
これで、全部……？
んう、ん……！

ふひゅ！ んっ、ん……っ！
ごきゅるッ、んっ、ごきゅッ、ごきゅ……ん、んう……！
はああああ！
はあ、はあっ、はあ、はあ……ッ！
頑張っ、みちやった……！

ん？ どうしたの……？
お口に出してっお願いした時……すごい驚いてたけど……、
もしかして……飲んでもらったのも初めて？

(主人公「そ、そりゃあないよ！」)

んう……へえ、そっか……。

初めて、もうひとつ貰っちゃったのか。

あ、でもパイズリは無理でもごっくんはたぶん、いけるんじゃないかな？

もっと頼んでみたら？

陽キャだからダメとかはただの偏見。

あなたが大好きなのは誰？

ちゃんと、愛を込めておねだりしてみてね。

=====

●トラック6：恋人の友人を指でイカせてしまった。

●背景：文芸部部室（夕方）

（トラック5の後日）

（ふたりは向かい合って座っている）

それで……結果報告したいってことらしいけど、

いいんだよ？ 別に。

ふたりだけの話なんだから、無理に報告しなくたって。

（主人公「怒られた」）

へ？ 桃に怒られたの？ どうして？

（主人公「催促したら……忙しいって」）

そ、そっか……まあ忙しそうだもんね、あの子。

シタいシタいって迫られたら、たしかに怒るかも……。

最近ちょっと素っ気ないのは、キミにだけじゃないみたい。

私の連絡もおろそかだし……部活の成績が影響してるっぽい。

そういう時は待って、向こうが頼ってくるまでの辛抱だよね。

(主人公「きょ、協力は？」)

ん……？

協力って……エッチの？

でも……手でもしたし、胸でもしたよ？

あくまで桃のためだから……桃があんな感じなら、もう練習に付き合えないよ。

ごめんね？

(主人公「ムラムラしてるんだ」)

……い、いやいや……。

ムラムラしてるのは知らないよ。

自分で出して？

ひゃあ！

やだっ！ なにするのっ？

(主人公、お尻を撫で始める)

ど、どこ触って……！

ダメだよこれは……ッ、あっ、う……！

ンッ、ッ……桃を悲しませないで……ッ。

う、んん、拒否されたって、何度だって誘えばいいでしょ？

断れたからって、ほかの女に鞍替えみたいなのはダメだよ……っ。

ううッ、んくうっ、あっ、ああっ、はあ、はあ……ッ。

ううううッ、んん、んっ、も、もお……っ。

ひゃ……ッ！

そこは勝手に触らないで……ッ！

(指挿入)

ああああ……ッ！

嘘でしょ……！？

うううう！

アアアッ、あつ、も、もおッ、勝手にッ——！
はあつ、あつ、ああッ！
早ければいいってもものじゃないよッ、そこ……っ！

んううう、んくッ、んんう、んうッ、んうッ、んんッ！
アッ、あつ、はあつ、ん、ンッ！
なっ、なに……ッ？

(主人公が強引にディープキス)

んむう！？ チュッ、アッ、ダメだつて……！
ちゅうう、チュッ、ん、ちゅ！ あぷ、んんっ、やつ、んん、チュッ！ちゅんん、ちゅる、
チュッ、んん、チュッ！

ちゅうう、んんむんん、ちゅる、チュッ！
アッ、ああつ、ダメッ、うう、んっ、い、イク……ッ！

(聖羅のみ絶頂)

うううううッ！
ちゅう、んん、ちゅ！ んん、ぷちゅ、んんん、チュッ！
ふう、ふう、んん、ちゅる、ちゅ！
ああッ、足がッ、がくがくッ、して……ううううッ、んん、ちゅん、チュッ！

ああああッ、んん、ちゅる、ちゅんん、ちゅんん、チュッ！
うううううッんん、チュッ、イッてる女の子には、もっと優しくしなくちゃ……ッ！
あぷんん、ちゅんん、ちゅるう、チュッ、んん、ちゅ！

こんなことしてっ、アッううッ、ちゅッ！
桃にどう説明するの……っ？
これ、協力にならないよ……？
アアッ、うう、ん、あつ、はあつ、はあつ！

ちゅううんん、ちゅ、れろれろッ、アッ！
んん、チュッ、溶けちゃうう……あ、ああ……ッ♥
んん、チュッ、んん、ちゅうっ！

ふはあ！

はあ、はあ……あ、あああ……ツツ♥

アッ♥

悔しいけどっ、んん、気持ちいい……ッ。

ああっ、んうう、んっ、はあっ、あっ、ああっ。

あうッ、んん、んっ。

上手、だし……ッ、はあっ、はあ……ッ。

ううううっ、またッ、イクから……！

(聖羅のみ絶頂（2回目）)

あああああ……ッ！

はあっ、はあ……ああああ、んん、んっ！

私がッ、あう、ンッ、敏感、なのかな……ッ！

ああッ、全然ッ、ひとりでしないからっ、はああ、はあ……ッ、

あああああッ、うううッ、快感に、慣れてない、だけ……？

んんッ、んん、っ、んっ、はあっ、あ、あああ……ツツ。

そういえばッ、んんう、んっ、

もとはといえば、私が誘ったん、だもんね……ッ。

桃のために、って……っ。

はあっ、あっ、ああ……ッ。

男の子の煩惱、刺激させすぎたの……っ、私だよね……。

んんんっ、ごめんね？

そこまで、意識回ってなかった……っ！

はあっ、ああっ、でも、もう遅い、のかな……ッ！

ああっっ、とろとろになったおまんこ、ああっ、ンッ、

いいっ、いま、キミのイイナリ……っ！

(主人公「もっとイカせてあげる」)

んううッ、んっ。

まだ、イカせるの……？

はあっ、はあっ、そんなテクがあるなら、

どうしてっ、桃相手に——

ンう〜〜〜〜ッッ！

ああああッ！ んあああつ、あッ、ああああッ♥

それッ、すごい来る、うううううッ♥

んううう！ はあ、はあッ！

あんっ！ ん、んうううッッ！

気持ちいいいっ！

いやっ、あああッッ！

ダメなのにッ！

ダメってわかってるのにいッ！

桃ごめんねえっ！

あなたの彼氏でッ、ま、またイカされちゃう〜〜〜〜ッッ！

(聖羅のみ絶頂（3回目）)

ンンンンンッッ！

あッ！ あああつ、はあつ、はああッ！

んくううッ、ん！ はあ、はああ……っ！

き、気持ち、い……ッ♥

おまんこ……ああつ、んん、ううん、子宮、から、

いやらしい気分が、溢れて、出てる……っ。

うううッ、ん、ああつ、ん……、

こんな気持ち……桃に、言えるわけないよ……。

はあ、はあ……もう、終わりだよね……？

これ以上は……もう……。

=====

●トラック7：恋人友人の処女搾取えっち

●背景：文芸部部室（夕方）

（手マンでイカせた後）

はあ……ああ……んん、んう……。

少し、休ませて……。

（主人公「机に手をついて？」）

え？ 机に？

こう……？

んう……もう、このままでいいから休ませて……。

え……？

なんの音……。

（主人公、後ろから密着する）

ひや！

あっ！ なにか当たっ——えっ！？

お、おちんちん外に出てる！？

（ペニスを押しつける）

ダメえ……ッ！

ああああッ、入れるのはっ、ほんとに無理……ッ！

んううううう！

アッ、あっ！ おッ、怒るよッ？

あああッ、ああ……んんううう、ん！

はあ、はあッ、ダメって、何度言えば……ッ！

あ……っ！

はあ、はあ……っ。

ううう、んっ、ん……ッ。

やめてよお……うううッ、んッ、お願い……ッ、
入れちゃったら……もう、後戻り、できないよ……？

それに処女って言ったよね……？

アッ、ああ……処女奪って、桃の彼氏に戻ろうなんて、
はあ、はあ、んんう、できないんだからね……？

(主人公「やらせてくれよ」)

んんううっ、いいよ……。

覚悟あるなら……っ、して、いいよ……。

た、ただ、ゴムないよね？

なら、外に出して……。

んくッ！

ゆっ、ゆっくりお願い……ッ！

ああああああ……ッッ！

(根元まで挿入)

ンンんう……っ！

い、言うこと、聞いてよ……っ！

はああ、はあっ、ああっ、んう、なにも、聞いてくれない……っ。

はあ、はあ、そんな、だから、

んう、ンッ、桃に、断られたんだよ……？

ひやああ！

アッ、ああっ！　だ、ダメッ！

んう～～ッ！　初めてって言ったよね！？

あああッ、激しすぎるよお！

しかも生ッ、生なんだからッ、はあ、はあっ！

擦れすぎちゃうよおッ！

んううううっ！

はあ、はあっ、あああっ、ん、んうううッ！

やッ、あああ、んく、んんんんッッ！

あああッ、おちんちんがッ、こんな奥まで来るなんて……ッ！

んぎゅうう、んッ！ はあ、はあっ！

あっ、あああッ！ はあ、はあッ！ んん、んう！

初めてのおちんちんで、ここまでッ、アッ、あっ！

喘いでッ、大丈夫、なの……っ？

はあっ、はあっ、んんん、あああああ、んんくうううんん、んッ！

あんッ♥ んうううう、ん！

ああっ、ん、んう！

桃はッ、どれくらい声出るのかな？

んう、はあっ、はあっ、友達のそういうのッ、知りたくはないっ、けど、

ああっ、んう！ 自分が、変なんじゃないかって、不安が……ッ！

あんッ！ んううう、んっ、ふう、ふう！

んんん、あんく、ンッ、んんんッ！

ああっ、ごめん……ッ、ああっ、イッちやう……ッ！

(聖羅のみ絶頂)

うううううッ！

アッ、ああっ！ い、イッちやった……ッ！

さっき、あんなイカされた、のにッ、

はあっ、はあっ、あっ、ああっ！

(主人公、両方の胸を揉む)

あんッ！ アッ！ お、おっぱいはッ、ああっ！

いまは待って……ッ！

ンんう〜〜ッ！ 敏感なのにッ——んうううっ！

はあっ、あっ、ああっ！
もおおッ、部室でッ、こんな、こと……っ！
ほかの部員来たらッ、どーするのお……っ！

私、初めてなんだよ？
はあっ、はあっ、こんな責められたら、
声だって、抑えきれないよお……ッ！

んううッ、あっ、ああっ！
んう、んっ！ ああっ、ううッ、無理やり、始めたけどッ、
んうう！ もうすでにッ、気持ち、い……ッ！
はあ、はあっ！

こんな気持ちいい、のにッ、
はあっ、あっ、ああッ、桃、なんでエッチ疎かにするの……っ？
んう、んっ！ それに中折れなんて、おかしい……ッ！

私のナカでッ、こんなカチカチだよっ？
彼女の友達のとッ、はあ、はあっ、胸だけしか色気ないようなっ、
つまんない私相手にッ、うううッ、んっ！
鈍器みたいにッ、硬くなってるんだよ……っ？

はあっ、はあっ！
あんんう、ンッ、んうッ！ ふう、んくん、んッッ！
ああっ！ イクう……ッッ！
お、おっぱいから手離してえ……ッ！
ああ〜〜〜ッ、んううううッッ！

(聖羅のみ絶頂)

あんッッ！
ああっ！ はあっ、はああっ！
制服の下ッ、汗だくだよ……ッ！

気持ちよすぎるの……ッ！
どうしてっ、私にこんな快感くれるのっ？

ダメだよっ、桃と幸せになってほしいのにい……っ！

桃にッ、硬くしてあげてよ……ッ！

桃にッ、ガンガン突いてあげてよ……っ！

ひゃんんうううッ！？

ち、違うって！ 私じゃなくてえ！

あああああ……ッ！

んううう！ ああっ、あっ、あああッ！

声がッ、ああっ！ 窓から外に漏れちゃうって！

んんう～～ッ！ あああああッ！

ダメえッ！ あああっ、ん、んううう！

気持ちよすぎてッ、ああっ、も、もおッ、

んんう～～ッ！

お願い！ もう終わりにしてえ……ッ！

これ以上されたらッ、私、変な気起こしちゃうよおッ！

(主人公「どこに出せばいい？」)

はあっ、はああッ！

どこに？ はあっ、はあっ、射精？

んう、んう！ じゃあ、お尻にかけてッ！

アッ、ああっ！

んうう、ンッ、ん！ はあっ、はあッッ！

私もっ、限界い……ッ！

イッてえええええ……ッッ！

(聖羅のみ絶頂)

あああああ……ッ！

(ペニスが抜けて尻へぶっかけ射精)

ひゃん！ アッ、あああ……んんん、んっ！

いっぱい、かけられちゃった……。

ああああ、はああ、はあ……。

お尻の上に……ああっ、ペースト状の、どろどろ……ッ。

んううッ、なんか、ジャムみたい……。

(主人公「ごめん……無理やり」)

はあ、はあ……。

ん？ ううん、無理やり……うん、無理やりだけど、

でも……途中で、私も気持ちよくなっちゃって……。

んう、あ、おちんちん、ちゃんと拭いといた方がいいよ……？

少しだけ、だけど……私の血、ついちゃってる……。

(主人公「ほんとに処女だったんだ」)

ふううう、ん……。

なーに？ 処女じゃないって、疑ってたの？

んう、そんな嘘つくわけないよ。

はあ……♥

とにかく……こんなエッチできるなら、

ちゃんとした恋、できると思うのに。

ほんと、もったいないね。

=====

●トラック 8：処女を捧げたのに…～恋人の友達が拗らせフェラ～

●背景：住宅街（夜）

(トラック 7 の数日後)

(主人公、デート帰りで家に帰ったところ)

(玄関前に着くところで、待ち伏せする聖羅を発見して足を止める)

お帰りなさい。

楽しかった？ デート。

(主人公「どうしてここに……」)

待ってたの。今日、キミとお話ししたくて。

居ないからもしかしてと思って桃に連絡したら……。

はあ……。

いいよね……好きな人とデートできるのって。

それに……最後はホテルかぁ。

桃がね？ さっき相談乗ってくれてありがとうって……ライン送ってきた。

……あんなツンケンしてたのに急に感謝とデレだよ？

なにかあったんじやって……まあ、なにかあったんだよね？ さっき。

キミも、スッキリした顔してる。

よしっ。

ねえ、部屋あげてくれる？

今日、ご両親結婚記念日でいないんでしょう？

桃から聞いている。

なら、問題ないよね？

(少しだけ間を空けてから主人公が歩き出す)

ありがとう。

●背景：主人公の部屋（夜）

(聖羅がベッドに座るところからスタート)

んしょ。

ほんとにいいの？

彼女以外がベッドに座っても。

(主人公「気にしないで」)

……うん、じゃあ遠慮なく。

……これが、男子の部屋。

(主人公「男の部屋初めてなの？」)

ううん。お兄ちゃんいる。

でもミニマリストだから全然男の人って感じなくて。

隣座って？

……はあ。

私さ、処女捧げたんだよ？

ほんとは捧げる気なかった。

だって、友達のために問題解決したいただけだったから。

……でも、私のナカにキミが入ってきて……、

あれからずっと、キミのことしか考えられなくなってきた……。

それなのに今日……

スンスン。

キミから、あの子の香水がする。

あの子が汗かいた後に使う香水の匂い……。

……気持ちよかった？

私の体より、よかった？

(主人公「い、いや、えっと……」)

答えていいよ。

遠慮しないで。

だって普通のことでしょ。恋人とエッチするのって。

……当たり前って、頭ではわかってるけど。

好きって気持ちは、誤魔化せないよ。

(主人公、聖羅と向かい合う)

……ど、どうしたの？

真剣な顔で――

んっ！

チュッ、あっ、ん、チュッ、だ、ダメだよ……っ。

チュッ、んぷ、ちゅっ、桃がいるでしょ……？

チュッ、んんん、ちゅ、ちゅっ……ッ！

はあ……！

はあ、はあ……っ！

(主人公「俺も……我慢したくない」)

え……？

でもっ、キミは……あの子がいるんでしょ？

デート……したんでしょ？

私にいま向けてる気持ちって……。

ふふ。そっか……。

ううん、言わなくてもわかつちやう。

うん、いいよ……浮気相手でもいい。

どうせ、最初から浮気相手だもんね……私なんて。

でも、浮気なら浮気で……、

本気で、しちやうからね……♥

んう……♥

私も……キミとのエッチ好きだよ♥

最近は、ココの感触思い出して……、

毎日、ひとりでシテた……。

あ……勃ってきた……♥

ふふ、おっきくていいね♥

このおちんちんで……彼女を幸せにしたんでしょ？

でも、私だって幸せになりたい。

見せて？

んう……。

(ペニスが露出する)

ふふふ♥

私にまで勃起するんだから……だいぶイケナイおちんちん。

スンスン。

んう……ゴムの匂いがするかも。

たしか……、

スンスン。

こういう匂い、だったよね。

んう……私だって――

(舐めフェラ開始)

れろれろれろ……チュッ、ん、チュッ、
このおちんちんを、気持ちよくしたい……。

れろれろッ、んちゅ、チュッ、れろ、れろッ。
んぷ、ちゅん、ちゅ、んん、ちゅ……中折れも萎えも解決して、
ちゅる、チュッ、彼女とのエッチ、再開できたのは誰のおかげ？

れろれろれろ……恩着せがましいこと言う気なかったけど、
れろれろ、ちゅ、んん、チュッ、
無理やり指でイカせたり、バックで入れたりしたんだから、
ちゅう、ちゅ、少しくらいは、感情持ってくれてると期待したんだけど……。

ちゅうう、ちゅ、れろれろ、んん、ちゅ、チュッ。
やっぱり男の子だね。
れろれろッ、ちゅう、チュッ、目先の興奮が一番？
れろ、ちゅん、チュッ、チュッ、女って一途だよ？
れろれろれろ、好きな人のことしか考えられないんだから。

ちゅん、チュッ、チュッ、好きになっちゃうと、

ちゆる、ちゅん、ちゅ……ちゅうう、ちゅ、レロレロレロ、
その人のこと、すべて気になって、ちゅう、チュッ、
脳内トリップしちゃうんだから……。

ちゅ、んん、ちゅく、ちゅんん、ちゆる、チュッ。
レロレロレロ……んぷんん、ちゅん、チュッ。
いまは……れろれろッ、ちゅうう、ちゅ、
キミのことしか考えられなくて、ちゅうう、ちゅっ、
友達の気持ちより、んん、チュッ、キミに思ってもらいたい気持ちでいっぱい。

ちゅ、ちゅううんん、チュッ。
ちゆる、ちゅんん、ちゅ。
れろれろれろ……んんん、ちゆる、チュッ。
カウパー溢れてきたから……、

んむうう、ちゆるるっ、ちゅんん、チュッ。
ズズッ、ゴムの匂い、ちゆるう、ヂュッ、唾液で消してあげる。

ズズッ、ちゆる、ちゅううう。
ヂュッ、んん、ヂュルル、ヂュッ。
んんむ、んん、ちゆる、ヂュッ。

ちゅう、ふうんん、ちゆる、ヂュッ。
はあ、んぷんん、ちゆる、ヂュッ、ちゅうううッ。
ずずう～～、ちゆるる、ヂュッ、んん、ちゆる、ヂュッ！

(主人公「や、やばいッッ」)

ちゅうう、んう？
まさかだけど、もう出ないよね？
ちゆるる、ヂュッ、桃に出したんでしょ？

ちゆるる、ヂュッ、ズズズッ、ヂュッ！
んぷんん、ちゆる、ちゅんん、ヂュッッ！
もう少し頑張って。

ちゅう、ちゅん、ちゅ、ズズズッ、ちゅ、ちゅる、ちゅ。
んむう、ちゅっ、ちゅ、ちゅるるるるっ。

(主人公「イクって！」)

んんちゅう、ん～。我慢弱いなあ。
ちゅるる、だから浮気に流されるんだよ？
ちゅううっ、ヂュッ、ヂュッ、でも、優柔不断なキミのことを……、
ちゅううッ、ちゅ、私なら愛する覚悟だよ。

出して？
ちゅうううッ、ちゅ、桃は飲めないそれ、私は飲めるよ♥
ちゅるるるッ、ヂュッ！
イッて？
精液……奥に♥
ちゅう～～～～～～～ッ！

(口内射精)

んぷっ！ ンッ、んうう……ッ！
うふ、ん、んう……ッ！
ふう、ふう……んんううう、んッ！
たくさん、出たね……♥
あふ、ん、んううう……ふうう、んん、ンッ……♥

ふひゅ……っ！
私は、これ飲めるから……っ。
ごきゅん、ごきゅ、ごきゅ……ん、ん……ッ。

はあああ……♥
いっぱい、貰っちゃった……♥
桃には何回出したの？
玉の中にこれだけ溜めてたなら……全然搾れてないんだと思う。
それに――

(聖羅、お掃除フェラ)

ちゅるちゅるちゅるる〜〜〜〜〜ッ。
んむむううう、ちゅる、チュッ！
んぷんん、ちゅっ、ちゅううううッ！

はあ……ッ。
お掃除フェラなんて、経験ある？
私は……どんなこともしてあげられるよ。
処女だって捧げたんだから、伝わってるよね？

ふふ。
さ、エッチしょ？
口洗ってくるから、全部脱いで待ってて？
私も、脱いでくる♥

=====

●トラック 9：「好きって言ったよね？」

●背景：主人公の部屋（夜）

（トラック 8 の数分後）
（主人公、全裸でベッドに座る）

お待たせ……。

（主人公「スタイル、エグいな……」）

あ、あまり見ないでよ……。
明るいところで裸見られるなんて、
同性相手でもあり得ないんだから……。
でも——
おちんちん、勃起してくれた……♥

チュッ、ちゅん、ちゅ。

寝て？
私が動くから。

跨がるね？
ああ……♥
硬いおちんちんが……つけ根に当たってる……♥
生でいいよね？
んん、ん……桃とはゴム付きでしょ？
私は……生でいい。

(主人公「でも……」)

いや？
でも、前に生でしたのどっちだっけ。
いまさら躊躇しないで。
私の気持ちに火をつけたの……そっちだよ？

ん……♥ このカチカチのおちんちん、
お迎えするね？
好きだよ……キミのこと♥

んあッ……ああああああ……ツツ♥

(根元まで挿入)

あうっ……ん！
んうう！ はああっ、はあ……入って、きた……♥

はあ、はあ……っ。
私の愛は……っ、

絶対にい、んうう、桃より、気持ちいいよ……っ♥
アッ、あっ、んううう、ん、んうッ♥

んん、ッ、はんっ、ん、んっ、愛してる。
でもっ、んう、うう、つらい……ッ。

んん、んっ、あああっ、ん、ああっ、なんでキミは、
桃の恋人なの？ 桃の恋人じゃなかったら、こんな、んっ、んう、
後ろめたくならなかったのに……ッ。

うううつ、あッ、ああっ、はあ、はあっ、んん、んく、ん、んうッ。
あんっ、んっ、ああ、そこッ、んうううう、ん、んッッ♥

(主人公「俺も……」)

はあっ、はあっ。
えっ？ な、なに？ もう一回言って……っ？

(主人公「好きだ……！」)

す、好き？
はあっ、はあ……ッ、ほんと？
んんうう、んっ、それっ、勢いで言ってない？

んんうッ、あっ、ん、本気の気持ちは、
言葉じゃ伝わらないよ……ッ♥
んう、んっ、伝えて？ 行動で♥

んむう！ ちゅうっ、あっ！ ちゅうっ、れろ、ッんん、ちゅ！
うれしいッ、ちゅんん、ちゅ、れろ、れろっ！ ちゅうう！

これ、待ってた♥
ちゅうう、んん、チュッ！ 愛が、伝わるプレイ……ッ。
ちゅ、んッ、んむ、ちゅ、ずっと、独りよがりな気してたから……。
ちゅ、んうう、ちゅ、ちゅ……ッ！

ふはあ！
はあっ、はあ……っ。
私も……っ、伝えたい……ッ。
浮気じゃ、いやだって……愛の気持ちを……っ♥

んう〜〜〜〜ッッ！

あああッ、く、んうう……ッ♥

はあっ、はあっ！ あの子ッ、マグロでしょ？

ああっ、ん、ん！ 受け身だって言ってた！

んん、あっ、あっ！ こんな風に、動いてくれないよね？

んう、私は動くよ♥

キミにッ、気持ち伝えたいからッ！

キミの気持ちよさそうな顔も、愛しいからッ♥

あああああッ！

それにッ、桃と違って、はあっ、はあっ！

私、いいよ♥ 受け入れられるッ♥

中出しザーメンッ♥

(主人公「ダメだよそれは！」)

ううんっ、ダメじゃない！

はあっ、はあっ！ あああッ、んんん！

出すまで放さないッ♥ どいてあげないッ♥

来てッ♥

キミだって、中出しに憧れてたでしょ？

はあっ、はあっ、私が叶えてあげるッ♥

全部の処女捧げたんだからっ、

キミもッ、んう、中出し童貞、私に捧げてッ♥

あああああああッッ！

いぐうううう……ッ！

一緒にいこッ？

んうう！ 愛してるよっ！

ああっ、だから出してほしいのッ♥

ナカにッ、おちんちんナカでイッてええええええッッ♥

(同時絶頂（中出し1回目）)

アアアアアアッ♥

んぎゅう〜っ！ んう、あつ、ああああッ♥

これがッ、中出しなんだあ……ッ♥

ああっ！ なにもかもがッ、想像の範囲外……ッ♥

気持ちよさでッ、ああッ！ おかしくなっちゃいそうう……ッ♥

あうッ！ んッ、んうう……ッ、

あつ、あつ、あああ……ッ。

はあ、はあ……んううう、ん、ど、どう？

んうう……んう、中出し、気持ちいい……？

(主人公「いままでで一番気持ちいい射精だ……」)

ふふふ……一番よかったんだ……♥

うれしい……。

ねえ？

……まだ、物足りないんでしょ？

もう一回、出してみる？

今度は、キミが動く番♥

ひや……っ。

ふふふ……。

(体位、騎乗位→正常位へ)

すごい力……♪

正常位にされちゃった……♥

ああああ……ッ♥

いきなり始まるんだね……っ！

んうううっ、あッ、あああッ♥

んううッ、体、好きにしていいいからね？
んっ、ん、好きで居てくれるなら、おっぱいも唇も、
おまんこさえッ、キミの好きにしてほしい♥

(主人公、片乳を揉む)

ん……ッ！
ふふっ、さっそく、んうううッ、あっ♥
やっぱり、おっぱい好きだね♥
んっ、んう！ これからは、はあっ、はあっ、揉むのも挟むのも、
んああっ、ん、しゃぶるのも自由だよ♥

ん、んく、んっ、人目がないなら、
ん、んっ、学校でだって、揉んでほしい♥
キミが、求めてくれるなら♥

ん、んう、はあっ、はあ……あ、あんっ、ん、んっ。
ふう、んん、んく、ん、んううう、んッ♥

ちゃんと、愛を囁きながら動いてっ？
はあっ、はあっ、ん、んう、好きが足りないよ♥
んっ、んっ、どこが好き？ ん、んう、私となにがしたい？
エッチ以外でも、はあっ、ん、んッ、んうううッ。
いろんなこと、求めてほしい♥

んうう、はあっ、あっ、んううう、んっ♥
私は、んんんっ、ん、普通のデートもしたい♥
桃と同じッ、ん、んっ、デートの後に、エッチしたいッ♥
幸せな気持ちで、ん、んく、ベッドの上の悦びも感じながら、家に帰るの♥

ああああッ、んん、んっ、でも、桃と違って、
何回でも、求めていいよ♥
んん、んっ、私も、おちんちん好きだから♥
キミのおちんちん、気持ちいいからっ、シコシコもフェラもセックスも、
なんだって、シテあげるッ♥
何度だってシテあげるッ♥

んうううッ、ん、んうううッ♥

ふふっ、これほんとに射精したばっか？

んん、んっ、ものすごい熱がッ、ああっ、んっ、おまんこのナカで、
ギンギンに広がってる……ッ♥

(主人公「ナカに……出していい？」)

はあっ、はあっ。

うん、ナカでいいよ♥

注いで♥ 愛を込めてッ、子宮ごとイかせて♥

ひぎゅんんんううううッッ！

ああああああ……ッッ！

おちんちん硬iiiiッ♥

あああっ！ 上手だよお♥ パンパン気持ちいい♥

あんッ、あ、ああっ、子宮に響いてるッ♥

あっ、あっ、ああッ、このままっ！ 気持ちいい、ままッ、
中出しされたいッ♥

愛の子種、私にだけ注いでほしいッ♥

来てッ♥ これが、私達のはじまりッ♥

全部出すまでッ、離さないッ♥

んんんんんッッ♥

イッてええッッ！

キミの精液ッ、ナカに注いでえええええッッ♥

(同時絶頂（中出し2回目）)

んんんんんッ！

アッ——んぎゅう！ うううううッッ！

アッ、幸セッ、が……あっ♥ はあ、はあッッ♥

中で、充満♥ あんッ、あっ、ああ……♥
はあっ、んく、ん……ッ、ああっ、ん、気持ちいいよお……♥
んんん、ん……ふうう、んくん……んうう、ん……♥

はあ、はあ……いっぱい、出たね……♥
今日何回目？
んう……まだまだ出そうな気配してる♥

はあ、ん、ん……普通に嬉しい。
ここまで、頑張って導線引いた甲斐あったよ。

(主人公「は？」)

ちょっと待って？
あった。
押し倒す時に、こっそりスマホを枕の下に置いてた。
これで――

これでOK……♥
ふふ……。
アハハハハハハハハ♥

は～……こんな簡単に思い通りになるとは思わなかった笑

ねえ？ この写真……桃が見たらどう思うかな？
裸の彼氏と友達……あ、結合部も撮っていい？
中出しの証拠になるから♪

(主人公「なに言ってるんだよ……？」)

まだわからない？
これ、浮気の証拠だよ……♥
キミは私を都合のいいオンナにしようとしてるかもしれないけど、
そんなことぜ～～～ったいにさせない。

(主人公「し、しないって！」)

ふふ、しないの？

でも……私の処女奪っというて、事後報告どころかなにひとつ言わずにうやむやにしようとしたよね？

これはそのための保険。

私を捨てないでね？

捨てたら……これ、桃と君のご両親に見せちゃう。

こんな脅しさせないでよ。

桃よりも前からず～～っと好きだったんだから。

一目惚れしてました♥

付き合ってくれるよね？